

## 2006～2007年度 春のRYLA (ライラ) 報告

地区青少年活動委員会

委員長 **泉 博 朗**

(大阪住吉RC)

日時: 2007年5月3日(木)14:00～5月5日(土)15:00

場所: 大阪府立青少年海洋センター(岬町)

本年度の春のライラが大阪北梅田RCのホストで「率先しよう!確かな未来を作るために」をテーマに実施されました。

今回はロータリアン330名のご登録、青少年81名、チームライラ10名(RYLA修了生)の参加で行われました。

基調講演は「超伝導リニア技術開発の歩みとその現状」というタイトルで、リニア開発本部山梨実験センター所長の白國紀行氏によって、日本が誇る超伝導リニア技術について行われ、多くの若者、ロータリアンからの質問にも答えていただきました。また海上保安庁より海難救助、巡視艇見学等の体験をさせていただきました。3日目にはロータリー財団国際親善奨学生としてボローニャ大学(イタリア)に留学された木村容子氏にイタリアについて卓話をさせていただきました。そして3日間好天に恵まれ、無事プログラムを終了することができました。

今回は約30名の海外からの留学生に参加していただきましたが、言葉の障害もなく、人種をこえて、屈託なく行動する彼らを見て、すべてのロータリアンが感動いたしました。近年ライラ受講生に混じって

ロータリーパパ、ママがカウンセラーとして共にライラを過ごすようになっております。ロータリアンと青少年とが同じ目線で3日間を過ごすわけです。ついつい頑張ってしまうロータリアンや「パパ、パパ」と慕われるロータリアン、我々ロータリアンにとりましても、本当に楽しい日々でした。

青少年がリーダーとなるためにまず必要なことは、腕力や知識ではありません。「強い意思」を持つことです。強い意思は自分のためというより、皆のためにと考えた時の方がより強くなります。さらに「清く正しい心」、「卑怯を戒める気持ち」が大事なのであります。これは社会性のなかで育まれるものであります。このことを「ライラ」は若者に伝えようとしているのです。今回はこの目的を十分に達成した「ライラ」であったと実感いたしております。

最後になりましたが、ホストとなっていただきました大阪北梅田RCの井上会長、鈴木実行委員長をはじめ大阪北梅田RCの皆様方、そしてチームライラの諸君本当に有難うございました。心より感謝申し上げます。



RYLAとは  
**Rotary  
Youth  
Leadership  
Awards** の略です。  
※RYLAはRIの指定事業です。

チームライラとは

ライラ修了生のボランティアリーダーのことで、ライラを指導することでリーダーシップ研修を行っている青少年たちです。